

SYSTEM DESIGN FORUM 2014

首都大学東京 システムデザイン学部・研究科

【日時】 平成26年 10月1日[水] 13:30-18:50

【会場】 首都大学東京 日野キャンパス

入場無料・事前申込不要

【問い合わせ】 TEL:042-585-8613 首都大学東京 日野キャンパス管理部 学務課

イベント詳細はウェブサイトをご覧ください。<http://www.seeds.sd.tmu.ac.jp/>

【主催】 首都大学東京システムデザイン学部・同大学院システムデザイン研究科

【後援】 東京都/日野市/八王子市/東京商工会議所/東京都商工会連合会/公益財団法人 東京都中小企業振興公社
地方独立行政法人 東京都立産業技術研究センター/一般社団法人 首都圏産業活性化協会/タマティーエルオー株式会社



TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY

首都大学東京

MESSAGE

本日は「システムデザインフォーラム2014」へようこそおめでとうございます。

本学部は、(1)ヒューマンメカトロニクスシステム、(2)情報通信システム、(3)航空宇宙システム工学、(4)経営システムデザイン、(5)インダストリアルアートの5コースを設置し、大学院研究科も同5学域により構成しております。本学部・研究科の特徴は、分野横断的な発想の基、工学分野の問題解決能力に重点を置いた、いわゆる「システムデザイン技術」の教育研究にあります。

本フォーラムは、この1年間における本学部・研究科の研究活動の総括、特に産学公連携を視野に入れた横断的プロジェクト研究の成果公表及び今後の取り組みを議論する場であり、産業界をはじめ、多くの都民の皆様への忌憚のないご批判とご指導を賜れば幸甚に存じます。

首都大学東京 システムデザイン学部長
同大学院 システムデザイン研究科長



長澤親生

システムデザイン学部・研究科概要（平成26年5月1日現在）



設置コース・学域	ヒューマンメカトロニクスシステムコース・学域※ 情報通信システムコース・学域 航空宇宙システム工学コース・学域 経営システムデザインコース・学域 インダストリアルアートコース・学域
----------	--

学生数 1,647名(学部生1,198名、大学院生449名)

教員数 88名(教授37名、准教授26名、助教25名)

※ヒューマンメカトロニクスシステムコース及び学域の名称について
平成27年度から、コース名を「知能機械システムコース」に、学域名を「知能機械システム学域」に変更します。

ホームページもあわせてご覧下さい。 <http://www.sd.tmu.ac.jp/>

特別招待講演 Invited lecture

16:20-17:20 | 2号館2階大講義室A

「海・人・ロボットのいい関係」



吉田弘

独立行政法人 海洋研究開発機構
海洋工学センター 海洋技術開発部長

たんざ3兄弟(提供: JAMSTEC)

- 1) おとひめ
- 2) じんべい
- 3) ゆめいるか

地球表面の7割を占める海。世界6位の海洋面積をもつ日本はこれまで漁業や海運などを通して海から多くの恩恵を受けてきましたし、これからも海と良

好な関係で付き合わなければなりません。一方、身近な海について今我々が知っているのは表面に近い一部分に過ぎません。つまり、深海のほとんどのエリアはこれから調べるのです。

深海に限らず、頼る相手を決めたら、まずはその素性を知らねばなりません。深海の場合、それは測量船による海底地形図づくり(海上保安庁が担当)から始まります。深海の環境や資源の詳細を調査するには人間が現

地に赴くのが理想ですが、「しんかい6500」のような有人潜水船を使うとコストが高く、また、深海の高圧環境下では船外活動もできません。そこで、コストを抑えて安全に行動する“深海ロボット”の出番となるわけです。

いま、日本の海洋技術者は深海利用を目標に深海ロボットの開発に精力を注いでいます。もちろん、今後海と良好な関係を保ち続けるための環境調査研究も並行して。

講演では、これからの海洋利用について、私たち海洋技術研究者が今やろうとしていることを深海ロボットの開発の観点から専門的な内容を交えて紹介し、海と人とロボットの関係を皆さんと一緒に考えたいと思います。



パネルディスカッション Panel discussion

17:30-18:50 | 2号館2階大講義室A

「ヒトとマチをつなぐ ソーシャルシステム」

「生命科学」、「ビッグデータ」、「都市デザイン」をキーワードに、システムデザイン学部・研究科で現在取り組んでいる研究内容の紹介と討論を行います。



発表タイトル及びパネリスト

「スポーツバイオメカニクス」

藤江裕道

首都大学東京システムデザイン学部教授
(ヒューマンメカトロニクスシステムコース)



「ソーシャルビッグデータ」

石川博

首都大学東京システムデザイン学部教授
(情報通信システムコース)



「ヒトとマチをつなぐデザイン」

菊竹雪

首都大学東京システムデザイン学部教授
(インダストリアルアートコース)

目次

- 3 特別招待講演
パネルディスカッション
- 4 ポスター展示 (全研究室)
- 5-6 ポスター展示 (一般)
- 7 キャンパスマップ
- 8-9 ポスター展示出展研究室一覧 (コース・学域別)
- 10-11 ポスター展示フロアマップ
- 12 全体スケジュール
相談コーナー

ポスター展示(全研究室)

Poster exhibition (Laboratories)

13:30-16:00 | 体育館

システムデザイン学部・研究科に所属する全研究室が展示を行います。

最新の研究成果を含む多様な活動をテーマ毎に分類し、

ポスター発表やデモンストレーションにより、教員及び学生からわかりやすく説明します。

また、若手研究者による研究紹介も行います。

実物展示実施研究室

「人と人をつなぐ コミュニティ支援ロボット」

山口研究室 (情報通信システム)

コンシェルジュロボット

イベント会場や受付などで活躍するインタラクションロボット「コンシェルジュロボット」の開発に取り組んでいます。このロボットは、人を追従したり手招きを認識して近づいたりします。さらに、人と対話することで相手の興味等を収集して、その人に合った情報の提供や、興味の合う人・共助の関係にある人を結びつけるコミュニティ支援を目指しています。コンシェルジュロボットは、芝浦工業大学の松日楽研究室や東京都立産業技術研究センターなどの研究機関と共同で開発し、RTコンポーネントやRSNPなどを用いて、一つのシステムに統合されています。



「未来の宇宙を創造する」

佐原研究室 (航空宇宙システム工学)

- 1) カンサット
- 2) バイナリブラックホール探査衛星「ORBIS」

当研究室では超小型衛星の搭載機器や利用法に関する革新的宇宙システムの研究開発を行っています。所属学生は「カンサット」(超小型模擬衛星)【写真1】の製作を通してメンテナンス・フリーのシステム開発やプロジェクト・マネジメントの手法を習得して打上実験を実施しています。また、本学都市教養学部理工学系や他大学、研究機関と共同でバイナリブラックホール探査衛星「ORBIS」【写真2】も開発しています。銀河中心部の巨大ブラックホールをX線で観測することをミッションとし、2020年頃の打ち上げを目指しています。



生体計測技術を用いた 感染症スクリーニングシステム 「KAZEKAMO」

松井研究室 (経営システムデザイン)

新型インフルエンザやSARSなどの感染症が流行し、世界中の人々から関心を集めています。当研究室ではインダストリアルアートコース・金研究室と共同で、レーダー・フォトセンサ・サーモグラフィによる呼吸数・心拍数・顔表面温度の10秒間同時計測から感染者と有病者を判定する「感染症スクリーニングシステム(KAZEKAMO)」を開発し、従来の検査方法よりも高精度かつ客観的な判別を行うことを可能としました。



生体計測技術を用いた うつ傾向判定システム 「UTSUKAMO」

松井研究室 (経営システムデザイン)

当研究室ではインダストリアルアートコース・串山・馬場研究室と共同で「うつの測定」にも取り組んでいます。開発中の「UTSUKAMO」はスマートフォンを利用したうつ傾向判定アプリです。リラックス映像視聴後カメラに5分ほど指を当てると、読み取った脈波をもとに副交感神経の活性度を算出し、その変化から「うつ傾向」の判定を行います。簡単に自分の状態を知ることができるアプリです。



「多角的デジタルアーカイブズ・シリーズ」

渡邊研究室 (インダストリアルアート)

- 1) 東京五輪・コンパニオン
- 2) 名神高速道路開通(1964年) 関ヶ原から祝賀パレード

「東京オリンピック1964アーカイブ」、「ヒロシマ・アーカイブ」などの「多角的デジタルアーカイブズ・シリーズ」を展示します。これは、既存のデジタルアーカイブ群とユーザーコミュニティをマッチアップし、VR-AR(仮想現実・拡張現実)インターフェイス上に表示するもので、ユーザーは、複数のデジタルアーカイブを横断的に閲覧しながら、コンテンツ相互の時空間的なつながりや身近な場所との関わりを把握し、アーカイブ群の内容をより深く知ることができます。



ポスター展示(一般)

Poster exhibition (The general)

13:30-16:00 | 体育館ほか

来場者に体験いただける研究紹介の実物展示、産学公連携事例の紹介、学修成果発表、学生サークル活動紹介などの展示を行います。

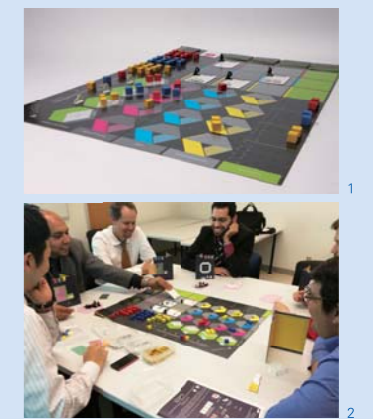
研究紹介(来場者体験型実物展示)

「PSS理念体感ゲーム EDIPSの 開発～製品とサービスの高度統合 を実現する人材育成ツール～」

下村研究室 (ヒューマンメカトロニクスシステム)

- 1) ビジネスゲーム EDIPS
- 2) カナダで開催された国際会議併催イベントでのEDIPSの試用

当研究室では、PSS(製品サービスシステム)の理念を教育するためのビジネスゲームEDIPSの開発を行ってきました。ビジネスゲームとは、ビジネスの疑似体験を通して、経営戦略やビジネススキルなど「経験」や「直観」を体感的に学ぶ道具です。このツールは、PSSのような新しい理念の意義や有用性を、ゲームを楽しみながら理解できることから、高い学習効果が期待できます。



産学公連携事例の紹介(実物展示)

「MOBIPO～移動可能な コミュニティ空間～」

会場 | 14号館向かい

情報通信システム × インダストリアルアート

- 1) MOBIPOの外観(2層)
- 2) MOBIPOの内観(1階)

MOBIPOは多層に展開できるトレーラーハウスです。首都直下地震などの災害を想定し、狭い場所を有効に利用できるよう輸送時は1階建て、設置時は2階建てに展開可能です。案内所やイベントスペースなどの移動式のコミュニティスペースのほか、住居、食堂としての利用、さらに、災害時には、複数のMOBIPOを集積することで、仮設庁舎や応急救護施設などの用途で使用することも想定しています。MOBIPOは、Mobility Portの略称です。



「T型ロボットベースと 制御ソフトウェア」

地方独立行政法人
東京都立産業技術研究センター

写真左) 制御ソフトウェア
写真右) T型ロボットベース
(提供: 東京都立産業技術研究センター)

東京都立産業技術研究センターが開発したロボット構築の基盤となるロボットベースと、これを使用したロボットを展示します。このロボットベースは日本発の国際規格であるRTミドルウェアのRTコンポーネントや、計測制御機器などで広く使われているLabVIEWのソフトウェアインタフェースから制御できます。また、安価なシングルボードコンピュータでもロボットベースを制御できるように改良したファームウェアとRTコンポーネントも開発しています。このロボットベースを組み込んだコンシェルジュロボットを情報通信システムコース・山口研究室と共同で研究開発しています。



学修成果発表(実物展示)

「ロボットコンテスト」

第1部 | タイムトライアルコンテスト | 13:30-14:30
第2部 | フラッグストライクコンテスト | 15:00-16:00

ヒューマンメカトロニクスシステム
(久保田直行教授、武居直行准教授、
和田一義准教授、履修学生)

- 昨年度の実施の様子(SDF2013)
- 1) タイムトライアルの様子
 - 2) フラッグストライクの様子

ヒューマンメカトロニクスシステムコースの授業「創造的ロボティクス演習」を受講した学生が開発したロボットを用いて競技を行います。この授業では、グループ単位で歩行ロボットのプロジェクを開発を体験し、ロボットの開発に必要な技術の理解を深めることを目的としています。

タイムトライアル: 移動の速さを競います。
フラッグストライク: 相手よりも早く旗を倒すことを競います。



ポスター展示(一般)

Poster exhibition (The general)

13:30-16:00 | 体育館ほか

「みらいKADEN プロジェクト2014」

ヒューマンメカトロニクスシステム
× インダストリアルアート
(教員、履修学生)

「KADEN プロジェクト2013」の成果
Digital Contents EXPO 2013展示ブース

授業科目名:研究プロジェクト演習「みらいKADEN プロジェクト2014」

「みらいKADEN プロジェクト」は、工学系学域のもつ技術(SEEDS)と社会やユーザーの要望(NEEDS)を融合させ、既存の製品開発とは違う角度からのアプローチでデザインする、「新しい製品開発を実践する」ことを目指しています。

2014年度のプロジェクト活動では、動物園協会及び上野動物園の協力のもと、未来の動物園のための「動物園から学びを伝える新しい体験ツールの提案」を目的に、学生が自ら発想し、イノベティブな製品デザインと実働するプロトタイプを制作しています。

3か月弱の短い活動期間の中、グループワークによりお互いの理解を深めながら協働創造した成果を発表します。



学修事例紹介(実物展示)

「デジタルファブリケーション デザインワークショップ」

(首都大学東京 教育改革推進事業)

システムデザイン担当者ワーキンググループ

- 1) 成果報告プレゼンの様子
- 2) 全体でのディスカッション

システムデザイン能力向上のための導入教育プログラムの開発・実施・学習・分析の取り組みとして実施したデジタルファブリケーションデザインワークショップについて紹介します。

このワークショップは、学部での早い段階での導入教育を念頭に、アイデア出しからデジタルファブリケーションによる実装までを一貫して集中的に行います。学生自身がスピード感をもって自ら考え、グループ内のコミュニケーションスキルを高めて実装までの実践的な思考を体得することを目指しています。



学生サークル活動紹介(実物展示)

「制作したゲームの展示と ゲーム制作体験」

学生サークル「AR改」

制作ゲーム例

「AR改」はゲーム制作サークルです。

アクション、シューティング、RPG、すごろく、音楽ゲームなど多種多様なジャンルのパソコン用ゲームや対戦型のシューティングゲーム、さらにスマートフォン(Android)で動くゲームも展示します。ゲームの好きな方や、ゲーム制作に少しでも興味のある方はぜひ当展示へお越しください!



「T-MITの活動 2014年度入賞機体部分展示」

学生サークル「首都大学東京鳥人間部 T-MIT」

- 1) 押し出し練習
- 2) 試験飛行後・集合写真

「首都大学東京鳥人間部 T-MIT」は毎年琵琶湖で開催される鳥人間コンテストで人力プロペラ機・タイムトライアル部門に出場しています。

人力プロペラ機の設計・製作から桁強度試験・試験飛行など、私たちの年間活動の紹介を、実際に飛行した機体の展示を交えて行います。人力飛行機に興味のある方はぜひ当展示へお越しください!



キャンパスマップ Campus map

① 2号館2階大講義室A

特別招待講演 … p.3
パネルディスカッション … p.3

② 体育館(13号館)

ポスター展示 … p.4-6
相談コーナー … p.12

③ 14号館向かい

ポスター展示(一般)
「MOBIPO」… p.5

④ 工事仮囲い

日野キャンパス実験棟新築工事 仮囲いデザインプロジェクト

プロジェクト名 | 「Blue Print Project / アオヤキ ノムコウヘ」
設置期間 | 平成26年7月29日 - 平成27年(予定)
プロジェクト担当 | インダストリアルアートコース / 菊竹研究室

当研究室では、日野キャンパス実験棟新築工事の仮囲いデザインを「青焼き」という表現により提案しました。

青焼きは、かつて建築や機械図面のために用いられてきた技術ですが、その独特な風合い以上に、未来を見通すためのファクターであると私達は捉えました。仮囲いの向こう側に続く、日野キャンパスの未来を道行く全ての人々に想像してもらい、期待感を抱いて欲しいと考えています。

- 1) 施工されたプロジェクトの様子
- 2) コース案内の一部



新実験棟イメージ

現在、環境に配慮した新実験棟の建設を進めています。
完成時には、中央部分に広場を配置した一体感のある快適なキャンパスに整備されます。
(完成予定:平成28年3月)



ポスター展示

コース・学域別出展研究室一覧

13:30-16:00 | 体育館

ポスター発表実施時間 ① 13:30-14:45 / ② 14:45-16:00 / ③ 13:30-16:00

ポスターの説明、質疑応答を行います。

★印のある研究室は、実物展示を実施します。

所属コース・学域	研究室	テーマ	発表タイトル	ポスター発表実施時間			ポスター配置フロアマップ	
				①	②	③		
01	久保田	都市・コミュニケーション	暮らしを支えるロボットパートナー		●		F	04
02	児島	サイエンス・テクノロジー	太陽光発電大量導入時の分散協調制御		●		A	01
03	森	サイエンス・テクノロジー	飛行船のシミュレータ構築と誘導制御	●			A	02
04	武居	サイエンス・テクノロジー	人をパワーアップするロボット技術開発		●		A	03
05	和田	都市・コミュニケーション	知的可変空間 -Smart Variable Space-		●		F	05
06	青村	ヒト・認識	頭部外傷の危険に曝されるスポーツ		●		C	01
07	池井	ヒト・認識	五感シアター: VRと超臨場感に関する研究	●			C	07
08	下村	デザイン・マネジメント	受供給者双方の快適性を考慮したデマンド・レスポンス・サービス設計手法	●			B	01
09	関原	ヒト・認識	生体からの磁場計測とその臨床医学への応用		●		C	03
10	藤江	ヒト・認識	幹細胞由来自己生成組織を用いた軟骨修復	●			C	02
11	諸貫	サイエンス・テクノロジー	微細加工と表面機能	●			A	04
12	楊	ヒト・認識	医療機器創製のためのスケール横断ナノ・マイクロ構造設計と加工技術	●			C	06
13	菅原	サイエンス・テクノロジー	ナノ構造光電子デバイスの試作と評価 ~ 高密度量子ドットレーザ		●		A	05
14	金子	ヒト・認識	マイクロ・ナノ構造の作製とセンサおよび細胞刺激への応用		●		C	05
15	阿保	地球・宇宙	超高層大気のリモートセンシング		●		D	07
16	田川	ヒト・認識	医用超音波工学に関する研究	●			C	04
17	長澤	地球・宇宙	レーザを用いた地球温暖化気体のリモートセンシングに関する研究	●			D	08
18	大久保	データ・ネットワーク	GPUコンピューティングによる超並列処理技術とその応用	●			E	01
19	柴田	地球・宇宙	地球・都市環境問題のための遠隔計測システムに関する研究		●		D	05
20	石川	都市・コミュニケーション	ソーシャルビッグデータに関する研究	●			F	08
21	福本	データ・ネットワーク	高電磁環境下でのディベンダブルコンピューティングに関する研究	●			E	03
22	片山	データ・ネットワーク	アセンブリ構造を持つCADモデルを対象とした検索に関する研究		●		E	04
23	小町	ヒト・認識	大規模ウェブマイニングと機械学習を用いた頑健な自然言語処理		●		C	13
24	三浦	サイエンス・テクノロジー	遅延計測回路の開発	●			A	06
25	貴家	データ・ネットワーク	視覚的暗号画像とその圧縮法の研究	●			E	06
26	山口★	都市・コミュニケーション	人と人をつなぐコミュニティ支援ロボット			●	-	-
27	高間	都市・コミュニケーション	Webインテリジェンスに関する研究		●		F	09
28	西川	データ・ネットワーク	メディア信号処理アルゴリズムの高性能化に関する研究		●		E	07
29	浅井	サイエンス・テクノロジー	航空宇宙工学と流体力学		●		A	09
30	金崎	デザイン・マネジメント	航空宇宙機エアフレーム設計~概念検討から詳細設計まで~	●			B	10
31	田川	データ・ネットワーク	GPGPUによる大規模混相流計算の高速高精度化		●		E	02
32	竹ヶ原	地球・宇宙	宇宙機用推進システムの研究開発	●			D	01

HMS ヒューマンメカトロニクスシステム ※1 / ICS 情報通信システム / AS 航空宇宙システム工学

MSE 経営システムデザイン / IA インダストリアルアート

※1 ヒューマンメカトロニクスシステムは、平成27年度から、コース及び学域の名称を「知能機械システム」に変更します。

※2 若手研究者(助教)によるポスター発表を行います。

所属コース・学域	研究室	テーマ	発表タイトル	ポスター発表実施時間			ポスター配置フロアマップ	
				①	②	③		
33	稲澤	サイエンス・テクノロジー	流れを制御する:空力音と摩擦抵抗の低減に関する研究		●		A	07
34	櫻井	地球・宇宙	次世代航空宇宙機用エンジンと燃焼技術	●			D	02
35	北園	サイエンス・テクノロジー	強度・延性に優れたマグネシウム合金の開発	●			A	08
36	渡辺	サイエンス・テクノロジー	実機構造適用に向けた複合材料の開発	●			A	10
37	小島	地球・宇宙	自然界に学ぶ宇宙インフレータブル構造物の構成に関する研究	●			D	03
38	福地	地球・宇宙	宇宙からの地球観測	●			D	06
39	佐原★	地球・宇宙	未来の宇宙を創造する			●	-	-
40	梶原	デザイン・マネジメント	生産システム設計支援技術	●			B	05
41	増田	デザイン・マネジメント	制御性能評価監視に基づくデータ駆動型プロセスシステム制御		●		B	04
42	山本	デザイン・マネジメント	課題解決のための最近の経営工学的アプローチ	●			B	03
43	開沼	デザイン・マネジメント	オペレーションズ・マネジメント -持続可能性&人道支援活動-		●		B	02
44	瀬尾	ヒト・認識	作業姿勢の計測を用いた人間工学における身体負担の評価		●		C	08
45	松井★	ヒト・認識	生体計測技術を用いた感染症スクリーニングシステム「KAZEKAMO」・うつ傾向判定システム「UTSUKAMO」			●	-	-
46	西内	ヒト・認識	ヒューマンインタフェースの使いやすさとセキュリティ	●			C	09
47	山中	ヒト・認識	認知の欠如とヒューマンエラー		●		C	12
48	會田	データ・ネットワーク	自然界の秩序に学ぶ新しい情報ネットワーク技術	●			E	10
49	朝香	データ・ネットワーク	環境情報活用のための次世代通信ネットワークサービス技術		●		E	09
50	飯村	データ・ネットワーク	遺伝的アルゴリズムによる電気自動車の東京都部における充電インフラ配置に関する研究	●			E	05
51	渋谷	デザイン・マネジメント	中小企業の高生産性職場づくりを支援する手法の開発	●			B	06
52	山下	デザイン・マネジメント	EV 超小型モビリティデザイン提案		●		B	07
53	笠松	ヒト・認識	人とモノとのいい関係を考える		●		C	10
54	金	デザイン・マネジメント	製品デザインプロセスにおける3Dレンダリング表現	●			B	08
55	藤原	都市・コミュニケーション	都市の住まい方に対する環境デザイン提案	●			F	07
56	Adams	都市・コミュニケーション	A Study of Interactive Modular Screen Wall Systems: towards combining the beauty and utility of architectural materials with interactive media technologies.	●			F	01
57	馬場	都市・コミュニケーション	A Study of Interactive Modular Screen Wall Systems: towards combining the beauty and utility of architectural materials with interactive media technologies.	●			F	02
58	笠原	データ・ネットワーク	3次元CGにおける効率的な半生成アルゴリズムの研究	●			E	08
59	菊竹	都市・コミュニケーション	ヴィジュアル・コミュニケーション・デザインの世界		●		F	06
60	串山	都市・コミュニケーション	A Study of Interactive Modular Screen Wall Systems: towards combining the beauty and utility of architectural materials with interactive media technologies.	●			F	03
61	楠見	ヒト・認識	人はなぜ日記をつけるのか —— 日々の記録ツールの研究	●			C	11
62	今間	デザイン・マネジメント	アニメーション、VFX映像、3D立体映像、モーションキャプチャ		●		B	09
63	渡邊★	都市・コミュニケーション	多角的アーカイブズ・シリーズ			●	-	-
64	AS 宣場グループ ※2	地球・宇宙	大型宇宙構造物の構築技術に関する研究	●			D	04

ポスター展示フロアマップ

Floor map

13:30-16:00 | 体育館

ポスター発表実施時間

ポスターの説明、質疑応答を行います。① 13:30-14:45 / ② 14:45-16:00 / ③ 13:30-16:00

所属(コース・学域名称)

HMS ヒューマンメカトロニクスシステム ※1

ICS 情報通信システム

AS 航空宇宙システム工学

MSE 経営システムデザイン

IA インダストリアルアート

※1 ヒューマンメカトロニクスシステムは、平成27年度から、コース及び学域の名称を「知能機械システム」に変更します。

※2 若手研究者(助教)によるポスター発表を行います。

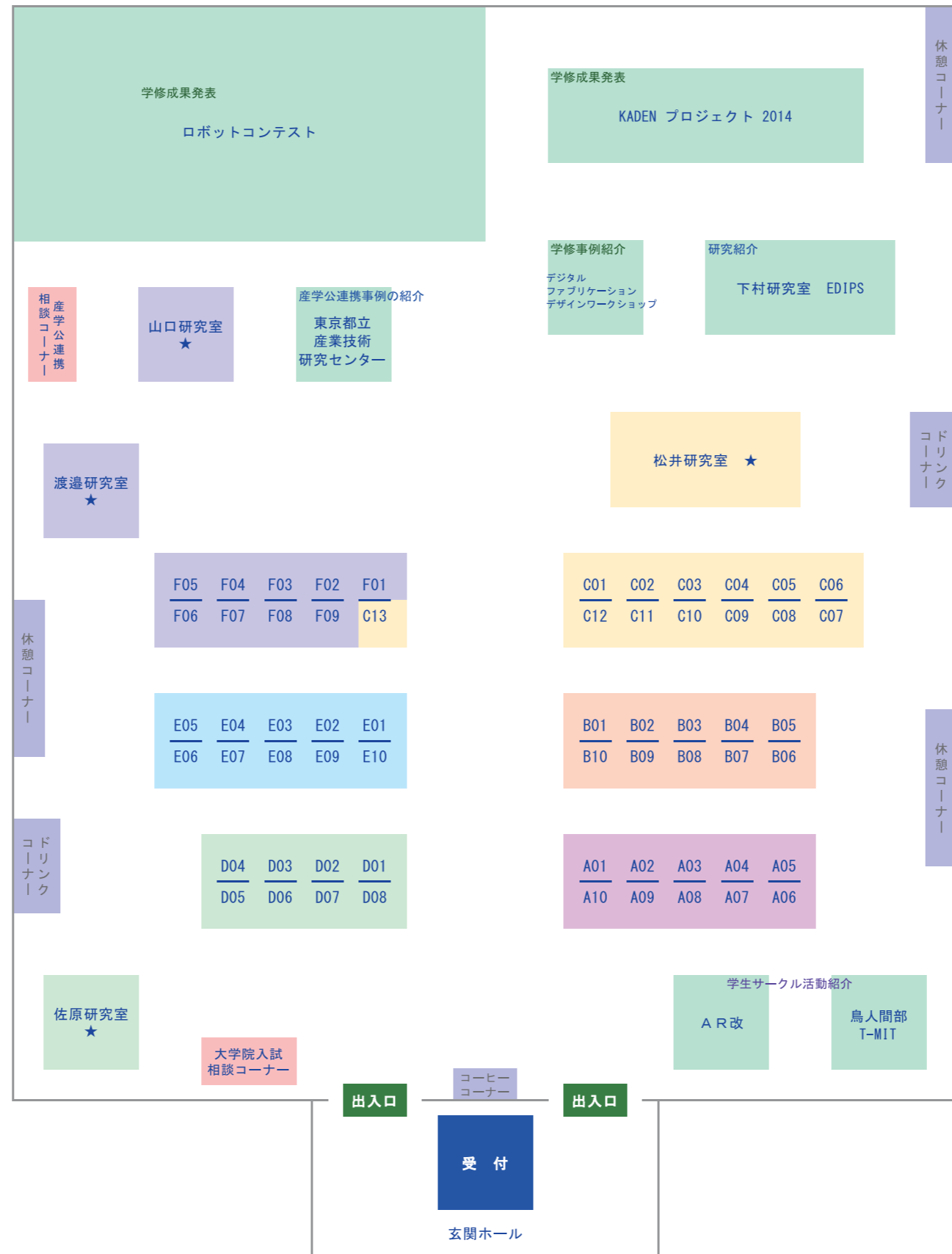
テーマ	都市・コミュニケーション		ポスター発表実施時間			
フロアマップ	発表タイトル	所属	研究室	①	②	③
F 01	[共同出展]	IA	Adams	●		
F 02	A Study of Interactive Modular Screen Wall Systems: towards combining the beauty and utility of architectural materials with interactive media technologies.	IA	馬場	●		
F 03		IA	串山	●		
F 04	くらしを支えるロボットパートナー	HMS	久保田		●	
F 05	知的可変空間 -Smart Variable Space-	HMS	和田		●	
F 06	ヴィジュアル・コミュニケーション・デザインの世界	IA	菊竹		●	
F 07	都市の住まい方に対する環境デザイン提案	IA	藤原	●		
F 08	ソーシャルビッグデータに関する研究	ICS	石川	●		
F 09	Webインテリジェンスに関する研究	ICS	高間		●	
-	人と人をつなぐコミュニティ支援ロボット	ICS	山口 ★			●
-	多角的デジタルアーカイブズ・シリーズ	IA	渡邊 ★			●

テーマ	データ・ネットワーク		ポスター発表実施時間			
フロアマップ	発表タイトル	所属	研究室	①	②	③
E 01	GPUコンピューティングによる超並列処理技術とその応用	ICS	大久保	●		
E 02	GPGUIによる大規模混相流計算の高速高精度化	AS	田川		●	
E 03	高電磁環境下でのディペンダブルコンピューティングに関する研究	ICS	福本	●		
E 04	アセンブリ構造を持つCADモデルを対象とした検索に関する研究	ICS	片山		●	
E 05	遺伝的アルゴリズムによる電気自動車の東京都部における充電インフラ配置に関する研究	MSE	飯村	●		
E 06	視覚的暗号化画像とその圧縮法の研究	ICS	貴家	●		
E 07	メディア信号処理アルゴリズムの高性能化に関する研究	ICS	西川		●	
E 08	3次元CGIにおける効率的な半影生成アルゴリズムの研究	IA	笠原	●		
E 09	環境情報活用のための次世代通信ネットワークサービス技術	MSE	朝香		●	
E 10	自然界の秩序に学ぶ新しい情報ネットワーク技術	MSE	會田	●		

テーマ	地球・宇宙		ポスター発表実施時間			
フロアマップ	発表タイトル	所属	研究室	①	②	③
D 01	宇宙機用推進システムの研究開発	AS	竹ヶ原	●		
D 02	次世代航空宇宙機用エンジンと燃焼技術	AS	櫻井	●		
D 03	自然界に学ぶ宇宙インフレータブル構造物の構成に関する研究	AS	小島	●		
D 04	大型宇宙構造物の構築技術に関する研究	AS	萱場 ※2 グループ		●	
D 05	地球・都市環境問題のための遠隔計測システムに関する研究	ICS	柴田	●		
D 06	宇宙からの地球観測	AS	福地	●		
D 07	超高層大気のリモートセンシング	ICS	阿保	●		
D 08	レーザを用いた地球温暖化気体のリモートセンシングに関する研究	ICS	長澤	●		
-	未来の宇宙を創造する	AS	佐原 ★			●

ポスター展示(全研究室) テーマ区分

A	B	C	D	E	F
サイエンス・テクノロジー	デザイン・マネジメント	ヒト・認識	地球・宇宙	データ・ネットワーク	都市・コミュニケーション



テーマ	ヒト・認識		ポスター発表実施時間			
フロアマップ	発表タイトル	所属	研究室	①	②	③
C 01	頭部外傷の危険に曝されるスポーツ	HMS	青村		●	
C 02	幹細胞由来自己生成組織を用いた軟骨修復	HMS	藤江	●		
C 03	生体からの磁場計測とその臨床医学への応用	HMS	関原		●	
C 04	医用超音波工学に関する研究	ICS	田川	●		
C 05	マイクロ・ナノ構造の作製とセンサおよび細胞刺激への応用	HMS	金子		●	
C 06	医療機器創製のためのスケール横断ナノ・マイクロ構造設計と加工技術	HMS	楊	●		
C 07	五感センサー: VRと超臨場感に関する研究	HMS	池井	●		
C 08	作業姿勢の計測を用いた人間工学における身体負担の評価	MSE	瀬尾		●	
C 09	ヒューマンインタフェースの使いやすさとセキュリティ	MSE	西内	●		
C 10	人とモノとのいい関係を考える	IA	笠松		●	
C 11	人はなぜ日記をつけるのか——日々の記録ツールの研究	IA	楠見	●		
C 12	認知の欠如とヒューマンエラー	MSE	山中		●	
C 13	大規模ウェブマイニングと機械学習を用いた頑健な自然言語処理	ICS	小町		●	
-	生体計測技術を用いた感染症スクリーニングシステム「KAZEKAMO」・うつ傾向判定システム「UTSUKAMO」	MSE	松井 ★			●

テーマ	デザイン・マネジメント		ポスター発表実施時間			
フロアマップ	発表タイトル	所属	研究室	①	②	③
B 01	受供給者双方の快適性を考慮したデマンド・レスポンス・サービス設計手法	HMS	下村	●		
B 02	オペレーションズ・マネジメント—持続可能性&人道支援活動—	MSE	開沼		●	
B 03	課題解決のための最近の経営学的アプローチ	MSE	山本	●		
B 04	制御性能評価監視に基づくデータ駆動型プロセスシステム制御	MSE	増田		●	
B 05	生産システム設計支援技術	MSE	梶原	●		
B 06	中小企業の高生産性職場づくりを支援する手法の開発	MSE	渋谷	●		
B 07	EV 超小型モビリティデザイン提案	IA	山下		●	
B 08	製品デザインプロセスにおける3Dレンダリング表現	IA	金	●		
B 09	アニメーション、VFX映像、3D立体映像、モーショントラッキング	IA	今間		●	
B 10	航空宇宙機エアフレーム設計～概念検討から詳細設計まで～	AS	金崎	●		

テーマ	サイエンス・テクノロジー		ポスター発表実施時間			
フロアマップ	発表タイトル	所属	研究室	①	②	③
A 01	太陽光発電大量導入時の分散協調制御	HMS	児島		●	
A 02	飛行船のシミュレータ構築と誘導制御	HMS	森	●		
A 03	人をパワーアップするロボット技術開発	HMS	武居		●	
A 04	微細加工と表面機能	HMS	諸貴	●		
A 05	ナノ構造光電子デバイスの試作と評価 ～ 高密度量子ドットレーザ	HMS	菅原		●	
A 06	遅延計測回路の開発	ICS	三浦	●		
A 07	流れを制御する: 空力音と摩擦抵抗の低減に関する研究	AS	稲澤		●	
A 08	強度・延性に優れたマグネシウム合金の開発	AS	北園	●		
A 09	航空宇宙工学と流体力学	AS	浅井		●	
A 10	実機構造適用に向けた複合材料の開発	AS	渡辺	●		

全体スケジュール Time table

プログラム	時間	会場	13	14	15	16	17	18	19
講演等会場 受付	16:00 ~ 18:20	2号館2階ラウンジ					講演等会場 受付		
特別招待講演	16:20 ~ 17:20	2号館2階大講義室 A					特別招待講演		
休憩	17:20 ~ 17:30								
パネルディスカッション	17:30 ~ 18:50	2号館2階大講義室 A						パネルディスカッション	
ポスター展示会場 受付	13:00 ~ 15:40	体育館入口	ポスター展示会場 受付						
研究紹介(ポスター展示)等	13:30 ~ 16:00	体育館		ポスター展示					
実物展示「MOBIPO」	13:30 ~ 16:00	14号館向かい							
ロボットコンテスト	タイムトライアル	13:30 ~ 14:30		タイムトライアルコンテスト					
	フラッグストライク	15:00 ~ 16:00			フラッグストライクコンテスト				
個別相談	産学公連携	13:30 ~ 16:00	体育館	産学公連携に関する個別相談					
	大学院入試			大学院入試に関する個別相談					

相談コーナー Consultation desks

13:30-16:00 | 体育館

「産学公連携に関する相談コーナー」

産学公連携センター

産学公連携センターの職員が、産学公連携に関するご相談をお受けします。また、希望者には各種資料等をお配りします。

「大学院入試に関する相談コーナー」

SD大学院入試委員会

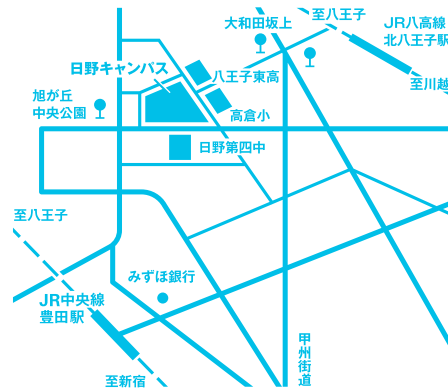
システムデザイン研究科の教員が、大学院入試に関するご相談をお受けします。また、希望者には大学院案内等各種資料、募集要項をお配りします。

アンケートご協力をお願い

アンケートにご回答いただいた方にノベルティグッズを差し上げます。お帰りの際に、各受付にお立ち寄りください。

会場へのアクセス Access

〒191-0065 東京都日野市旭が丘6-6



- JR中央線「豊田駅」北口から徒歩20分、または、京王バス「平山工業団地循環」乗車約10分、「旭が丘中央公園」下車徒歩5分

- JR中央線「八王子」駅北口、または、京王線「京王八王子」駅西口から京王バス「日野駅行」、または、「豊田駅北口行」乗車15~30分、「大和田坂上」下車徒歩約10分

- JR八高線「北八王子」駅から徒歩約15分

※お車でのご来場はご遠慮ください。